

会員投稿

## 日々是好日

新田町 祖父江 常雄

余所者の会社人間が、リタイヤして10年。地域社会の一員として、充実した余生を過ごしている現在、毎日が日曜日のとまどいから、何時ぬけ出られたのか思い返してみると、平成4年の「老人大学」入学が転機であった。

即ちこの時点から、会社とは全然関わりのない地域社会の人達との交流が始まり、その付き合いから、平成6年に“ぐんま長寿大学・専門課程”へ入学。専門課目で“郷土史”を受講（4時間／週で、6月から翌年3月までに27回を2ヶ年）。

多士済々で錚々たる同級生に触発され、前橋の生涯学習センターまで、真面目に通学。年度末のレポート提出、卒業論文の発表など、充実したこの2年間の生活が契機となり、専門課目で手解きを受けた“近世文書解読”の勉強を続け、県立文書館主催の“古文書解読入門講座から長期講座”へと受講。

現在は文書館の同好会と、太田九合公民館での「古文書あゆみの会」の会員として、記憶力の衰えとたたかいながら、予習・復習と楽しく時間を過ごしている。

又、長寿学園の関係から、平成8年度群馬県長寿社会つくり財団主催の“ときめきガイド養成講座”に応募し、70時間の講習後、終了者で結成した“新田荘ボランティアガイドの会”に参加、定例の“新田荘遺跡めぐりバスツアー”的ガイドを始め、1市3町（太田市、尾島町、新田町、薮塚本町）へ依頼のある、観光客へのガイドと、月1回の月例勉強会を、生きがいのひとつとして続けている。



尚、年齢とともに衰える体力の維持向上には、好きな山歩き、ハイキングと、2時間／週の柔軟体操を続け、“平均余命83歳”まで、現在の生活が続けられれば、これ以上の幸はないと思っている。

(おわり)

